



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 昭和シェル石油株式会社

コード番号 5002 URL <http://www.showa-shell.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 香藤 繁常

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長 (氏名) 吉岡 勉

TEL 03-5531-5591

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	810,494	6.7	6,721	△81.9	7,052	△80.7	6,812	△72.3
25年12月期第1四半期	759,275	8.4	37,209	162.8	36,552	157.7	24,610	291.2

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 7,697百万円 (△70.1%) 25年12月期第1四半期 25,717百万円 (252.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	18.09	—
25年12月期第1四半期	65.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,221,887	325,585	24.6
25年12月期	1,295,831	325,352	23.2

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 300,974百万円 25年12月期 300,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,560,000	10.2	20,000	△53.8	20,000	△54.5	15,000	△50.1	39.83
通期	3,150,000	6.6	53,000	△29.7	53,000	△30.4	37,000	△38.6	98.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	376,850,400 株	25年12月期	376,850,400 株
26年12月期1Q	214,066 株	25年12月期	213,372 株
26年12月期1Q	376,636,686 株	25年12月期1Q	376,622,958 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、当社グループ(当社及び連結子会社、以下同様)の業績は、経済情勢や市場動向並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績については、売上高8,104億円（前年同期比6.7%増収）、営業利益67億円（前年同期比304億円の減益）、経常利益70億円（前年同期比294億円の減益）となりました。なお、たな卸資産評価の影響等を除いた場合の連結経常利益相当額については32億円となり、前年同期に比して146億円の減益となりました。

(原油価格、為替レートの状況)

	ドバイ原油 (ドル/バレル)	為替レート (円/ドル)	為替レート (円/ユーロ)
平成25年12月期 第1四半期連結累計期間	108.1	92.5	122.1
平成26年12月期 第1四半期連結累計期間	104.4	102.8	140.8
増 減	△3.7	+10.3	+18.7

※各数値は該当期間の平均値によります。

各セグメントの業績は、次の通りです。

① 石油事業

当第1四半期の当社グループの国内石油製品の販売数量は、主として灯油や火力発電向けC重油等が低調であったため、前年同期を下回りました。また、国内石油製品のマージン環境が年初より低調に推移したため、当社グループでは中間留分を中心とした製品輸出を機動的に実施しました。

国内石油製品需要が減少する中、当社グループではこの3月に昭和四日市石油株式会社四日市製油所において不均化装置の建設（平成28年稼働開始予定）を決定し、今後、アジアにおいて需要増加が見込まれるミックスキシレン（混合キシレン）などの芳香族を中心とした石油化学製品の増産を図っていくこととしました。事業環境変化への柔軟な対応力を強化するとともに、石油化学事業については、需要増が見込まれるアジア市場に対応した戦略を強化してまいります。

このような状況の下、石油事業の売上高は7,765億円（前年同期比7.8%増収）、営業利益は2億円（前年同期比345億円減益）となりました。また、たな卸資産評価の影響を除いた場合の営業損失相当額は36億円（前年同期比196億円の減益）となりました。

② エネルギーソリューション事業

太陽電池事業においては、国内需要が引き続き堅調であり、製品販売価格も概ね安定して推移しました。住宅分野では、引き続き販売代理店を通じた販売促進活動を展開するとともに、昨年10月には住宅メーカーのセキスイハイムのゼロエネルギー住宅「スマートパワーステーション」シリーズへのパネル採用が決定するなど、着々と販売基盤が拡充されてきています。メガソーラー分野では、長崎空港隣地に国内有数の規模（29.1MW）となるプロジェクトへの参画が決定しています。

また、宮城県黒川郡大衡村において計画中の新工場（公称生産能力150MW）は、平成27年3月末までの稼働を目指し、この3月に着工しました。同工場に導入される最新の量産技術は、従来よりも高性能な製品をより効率的に生産することを可能にし、販売のグローバル展開を視野に海外生産拠点を築くためのモデルプラントとしての役割を担っていきます。

電力事業については、グループ内発電所が安定して稼働しており、複数の販売チャンネルを通して電力供給を実施しました。これまでにソーラーフロンティア社のCIS薄膜太陽電池と自社遊休地を活用した発電設備は順次運転を開始しており、当社が出資する「扇島パワーステーション」3号機の増設（平成28年3月運転開始予定）や京浜製油所扇町工場跡地におけるバイオマス発電所の建設（平成27年12月運転開始予定）など、規模の拡大と発電源メニューの拡充に向けた取組を進めています。

これらの結果、エネルギーソリューション事業では、太陽電池事業において出荷時期のタイムラグ影響等にもよって販売数量が前年同期比減少したこともあり、売上高は317億円（前年同期比14.3%減収）となりました。一方、製品販売価格は安定して推移し、さらに生産コスト単価低減の進化によって利益率が向上したため営業利益は61億円（前年同期比40億円の増益）となりました。

③ その他

その他に関しては、売上高は22億円、営業利益2億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1兆2,218億円となり、前連結会計年度末に比べ739億円減少しました。

負債は、8,963億円となり、前連結会計年度末に比べ741億円減少しました。なお、有利子負債（長期・短期借入金、コマーシャル・ペーパー及び社債の合計）残高は揮発油税延納に関する未払額が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ286億円増加し、2,496億円となりました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ2億円増加して3,255億円となりました。これは主に当第1四半期連結累計期間における純利益等の増加要因が配当金の支払等の減少要因を上回ったことによるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は24.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月14日に発表致しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は変更していません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,635	12,626
受取手形及び売掛金	391,257	342,809
商品及び製品	158,640	162,324
仕掛品	1,622	3,286
原材料及び貯蔵品	163,347	152,252
その他	44,223	46,793
貸倒引当金	△452	△279
流動資産合計	787,274	719,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	99,767	98,978
機械装置及び運搬具(純額)	133,758	128,261
土地	155,911	156,642
その他(純額)	21,655	22,972
有形固定資産合計	411,092	406,855
無形固定資産	11,160	11,286
投資その他の資産		
その他	86,944	84,540
貸倒引当金	△640	△607
投資その他の資産合計	86,303	83,932
固定資産合計	508,556	502,075
資産合計	1,295,831	1,221,887
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,965	355,176
短期借入金	89,298	127,715
未払金	173,149	122,466
未払法人税等	18,153	2,323
引当金	2,206	4,063
コマーシャル・ペーパー	—	6,000
その他	67,806	59,576
流動負債合計	735,580	677,322
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	111,696	95,933
退職給付引当金	73,005	72,812
特別修繕引当金	15,033	15,540
その他	25,162	24,693
固定負債合計	234,897	218,979
負債合計	970,478	896,301

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,197	34,197
資本剰余金	22,123	22,123
利益剰余金	243,374	243,406
自己株式	△180	△180
株主資本合計	299,515	299,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,613	1,216
繰延ヘッジ損益	△510	211
その他の包括利益累計額合計	1,102	1,427
少数株主持分	24,733	24,610
純資産合計	325,352	325,585
負債純資産合計	1,295,831	1,221,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	759,275	810,494
売上原価	689,144	772,468
売上総利益	70,130	38,025
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	10,629	9,897
人件費	8,673	8,569
その他	13,617	12,837
販売費及び一般管理費合計	32,920	31,304
営業利益	37,209	6,721
営業外収益		
受取利息	38	35
受取配当金	237	245
為替差益	—	41
持分法による投資利益	190	291
匿名組合投資利益	293	342
貸倒引当金戻入額	56	204
その他	324	456
営業外収益合計	1,140	1,616
営業外費用		
支払利息	1,108	965
為替差損	366	—
その他	323	320
営業外費用合計	1,798	1,285
経常利益	36,552	7,052
特別利益		
固定資産売却益	145	416
補助金収入	3,439	3,068
その他	61	27
特別利益合計	3,646	3,511
特別損失		
固定資産処分損	510	421
減損損失	60	262
たな卸資産廃棄損	167	—
訴訟和解金	—	828
その他	53	80
特別損失合計	792	1,592
税金等調整前四半期純利益	39,405	8,971
法人税、住民税及び事業税	14,649	2,210
法人税等調整額	△551	△626
法人税等合計	14,097	1,584
少数株主損益調整前四半期純利益	25,307	7,387
少数株主利益	696	574
四半期純利益	24,610	6,812

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,307	7,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	△393
繰延ヘッジ損益	309	721
持分法適用会社に対する持分相当額	69	△18
その他の包括利益合計	409	310
四半期包括利益	25,717	7,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,995	7,137
少数株主に係る四半期包括利益	721	560

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油事業	エネルギー ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	720,201	37,000	757,202	2,073	759,275	—	759,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,470	4,608	7,078	903	7,982	△7,982	—
計	722,671	41,608	764,280	2,976	767,257	△7,982	759,275
セグメント利益	34,743	2,092	36,836	364	37,200	8	37,209

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額8百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油事業	エネルギー ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	776,539	31,715	808,254	2,239	810,494	—	810,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,724	3,178	5,903	541	6,444	△6,444	—
計	779,263	34,894	814,157	2,780	816,938	△6,444	810,494
セグメント利益	241	6,169	6,411	297	6,709	12	6,721

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額12百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。